

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム さくら

作成日: 平成 28 年 11 月 22 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	面会の多い家族と少ない家族がいるので、ホームと家族の関係に強弱があり、訪問の少ない家族共、電話やメールを有効に使い、ホーム便りを送付する等して、関係強化に取り組んでいく。	家族の面会は、利用者の生きる力に繋がるので、行事を兼ねた食事会等を開催し、利用者と家族が、楽しい時間を過ごしてもらい、家族同士の信頼関係が築かれる関係を、確立できるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	管理者を中心にチームワークの取れた介護の実践に取り組んでいるが、これからのグループホームとして、運営が安定して行なわれるための、若手の職員の介護技術の向上と、意識の高揚を目指していく。	その時代に合わせたグループホームを目指し、他事業所の管理者や職員との相互交流を図り、地域のグループホーム間の協力体制を構築し、職員の意識改革と介護力の向上を目指していく。	12ヶ月
3	1	理念の共有と実践	理念が事務室の見えにくい場所に掲示して、字体も小さくて、職員や来訪者が見えづらいので、掲示場所や字体を検討し、職員が理念を意識した介護が出来るように取り組んでいく。	理念の唱和を定期的に行い、職員会議や勉強会で理念の意義を確認し、理念に基づいた介護の実践に取り組んでいく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。